



# 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 丸順  
コード番号 3422 URL <http://www.maruiun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今川 喜章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 小高 光一

TEL 0584-89-8181

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	12,103	40.5	△80	—	△135	—	△23	—
24年3月期第1四半期	8,611	△20.3	266	△64.0	209	△66.2	109	△64.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 411百万円 (△9.4%) 24年3月期第1四半期 454百万円 (17.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△2.41	—
24年3月期第1四半期	11.22	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	37,978	7,400	12.4
24年3月期	30,399	6,775	14.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 4,712百万円 24年3月期 4,436百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,000	50.3	400	—	300	—	850	—	87.04
通期	51,000	39.4	1,500	—	1,200	—	1,200	—	122.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) Indiana Marujun Corporation 、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	9,771,000 株	24年3月期	9,771,000 株
25年3月期1Q	4,855 株	24年3月期	4,855 株
25年3月期1Q	9,766,145 株	24年3月期1Q	9,766,145 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では弱いながらも穏やかな回復基調で推移した一方、欧州における財政不安問題が大きく影響を及ぼしたほか、アジア新興国では一部に回復の動きがあるものの、特に中国における経済成長が鈍化するなど、全体として減速感が広がりました。日本国内では、デフレの更なる進行や雇用情勢の悪化などに加え、長期化する円高や国内電力問題など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループが属する自動車業界では、新興国を中心に市場が拡大しているほか、国内では政府のエコカー補助金制度が再実施されるなど、量的に拡大が進む反面、衝突安全性能や地球環境問題など、社会的に要求される水準は高まり続けており、業界として対処すべき課題は年々増え続けております。

このような状況のもと、当社グループは第5次中期経営計画の施策として、ボトム生産体質の構築をはじめとする様々な活動に取組み、生産体質の強化を図ったほか、平成23年10月のタイ洪水で被災したタイ・マルジュン社の復興活動に注力してまいりました。また、平成24年6月にはインディアナ・マルジュン社を子会社化し、当社初の北米部品生産拠点を設けるなど、グローバル事業の拡大展開に取組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は12,103百万円（前年同四半期比40.5%増）、営業損失は80百万円（前年同四半期は266百万円の営業利益）、経常損失は135百万円（前年同四半期は209百万円の経常利益）となり、タイ洪水によって被災したタイ・マルジュン社の受取保険金を特別利益とした結果、四半期純損失は23百万円（前年同四半期は109百万円の四半期純利益）となりました。

報告セグメントごとの業績は、以下のとおりであります。

#### (丸順)

丸順においては、当社のメイン商品である車体プレス部品では、東日本大震災からの復興やエコカー補助金制度の実施による需要増加に支えられ生産が好調となるなど、大幅に増産いたしました。また、金型では、新機種用設備の販売が増加したため、全体で好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は4,895百万円（前年同四半期比112.4%増）、経常利益は469百万円（前年同四半期は16百万円の経常損失）となりました。

#### (タイ)

タイにおいては、平成23年10月に発生したタイ洪水の影響により、主要取引先の生産が停滞を続けていたほか、当社においても工場の復旧復興作業に従事していたため、大きく減産する状況となりました。

以上の結果、売上高は746百万円（前年同四半期比70.1%減）、経常損失は527百万円（前年同四半期は118百万円の経常利益）となりました。

#### (広州)

広州においては、中国の経済成長の勢いが鈍化を見せ始めたことにより、自動車需要の増加に陰りが見られるようになったほか、原材料や人件費の高騰の影響を受け、売上高、利益ともに前年同四半期を下回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は2,217百万円（前年同四半期比13.9%減）、経常利益は69百万円（前年同四半期

比60.5%減)となりました。

(武漢)

武漢においては、広州と同様に中国経済の成長鈍化や原価高騰の影響を受けたため、売上高、利益ともに前年同四半期を下回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,049百万円(前年同四半期比8.2%減)、経常利益は62百万円(前年同四半期比27.2%減)となりました。

(インディアナ)

インディアナにおいては、平成24年6月の子会社化にあたり、生産及び人員効率の向上を目指し、駐在員の派遣を行うことで、当社グループの生産体質の浸透を図るなど、様々な取組みを行ってまいりました。

以上の結果、売上高は3,090百万円、経常損失は33百万円となりました。

(四輪販売)

四輪販売においては、主力である新車販売では、新型車の投入のほか、政府のエコカー補助金制度の再実施により買換え需要が急増したため、販売は好調に推移いたしました。また、中古車販売、保険及びサービスも堅調に推移し、全体として売上高、経常利益ともに前年を上回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は736百万円(前年同四半期比80.5%増)、経常利益は15百万円(前年同四半期は6百万円の経常損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、37,978百万円となり、前連結会計年度末と比較し、7,579百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,653百万円増加、仕掛品が365百万円増加、原材料が675百万円増加、有形固定資産が4,175百万円増加したことが要因であります。

負債総額は30,577百万円となり、前連結会計年度末と比較し、6,953百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,588百万円増加、短期借入金が1,178百万円増加、長期借入金が2,826百万円増加、リース債務が44百万円増加したことが要因であります。

純資産は7,400百万円となり、前連結会計年度末と比較し、625百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が23百万円減少、為替換算調整勘定が336百万円増加したことが要因であります。

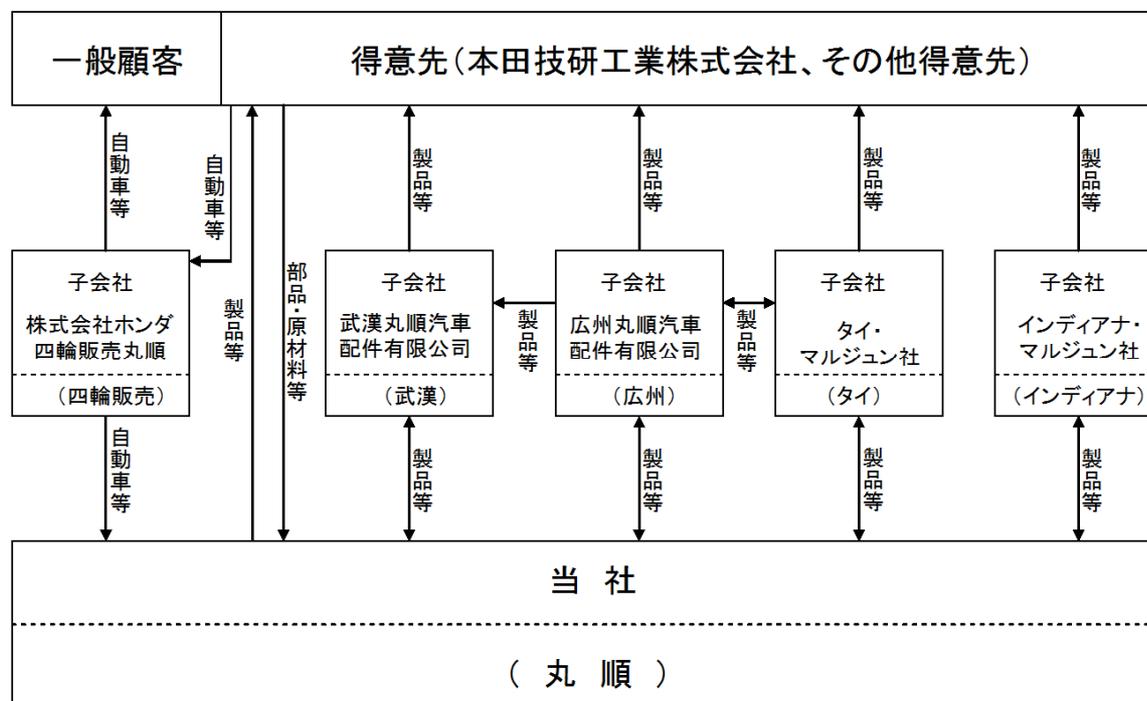
(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年6月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年6月11日付で公表した「株式取得(子会社化)に関する売買契約締結及び商号変更に関するお知らせ」のとおり、平成24年6月13日付でIndiana Marujun Corporation(インディアナ・マルジュン社)の株式を追加して取得し、当第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めています。



## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

## ② 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内子会社において、従来、有形固定資産(建物及び工具器具及び備品のうちの金型を除く)の減価償却の方法について定率法を採用し、在外連結子会社は定額法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法によることといたしました。

この変更は、当社における有形固定資産の減価償却方法について見直しを実施した結果、概ね耐用年数の各期間において使用の程度が平均化してきており、投資効果は耐用年数にわたり平均して発現することが見込まれること、及び、当社グループのグローバル展開が進展する中で、海外拠点の重要性が高まっていることから、グループ内の会計処理を定額法に統一する事がより合理的であると判断したものと

であります。

この結果、従来の方法と比較して、当第1連結会計期間の減価償却費は25百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ25百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,202	2,121
受取手形及び売掛金	5,785	7,439
商品及び製品	330	391
仕掛品	997	1,362
原材料及び貯蔵品	490	1,166
その他	996	1,176
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	10,802	13,657
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,861	5,943
機械装置及び運搬具(純額)	4,055	6,126
工具、器具及び備品(純額)	3,606	3,511
土地	1,882	1,858
リース資産(純額)	859	951
建設仮勘定	2,195	3,245
有形固定資産合計	17,461	21,636
無形固定資産	111	109
投資その他の資産		
その他	2,040	2,592
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,023	2,575
固定資産合計	19,596	24,321
資産合計	30,399	37,978

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,554	7,142
短期借入金	7,449	8,628
リース債務	331	337
未払法人税等	79	45
賞与引当金	206	451
その他	1,609	2,452
流動負債合計	15,230	19,057
固定負債		
長期借入金	6,704	9,531
リース債務	292	330
退職給付引当金	856	896
資産除去債務	82	82
負ののれん	16	13
その他	441	664
固定負債合計	8,394	11,520
負債合計	23,624	30,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	3,221	3,198
自己株式	△2	△2
株主資本合計	5,192	5,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	514	477
為替換算調整勘定	△1,270	△933
その他の包括利益累計額合計	△755	△456
少数株主持分	2,338	2,688
純資産合計	6,775	7,400
負債純資産合計	30,399	37,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	8,611	12,103
売上原価	7,534	10,806
売上総利益	1,077	1,296
販売費及び一般管理費	810	1,377
営業利益又は営業損失(△)	266	△80
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	5	6
為替差益	—	33
助成金収入	57	—
その他	11	16
営業外収益合計	76	59
営業外費用		
支払利息	94	108
為替差損	21	—
その他	18	6
営業外費用合計	134	115
経常利益又は経常損失(△)	209	△135
特別利益		
固定資産売却益	0	—
受取保険金	—	373
特別利益合計	0	373
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産廃棄損	4	—
災害による損失	79	—
投資有価証券評価損	10	0
段階取得に係る差損	—	128
その他	—	22
特別損失合計	95	152
税金等調整前四半期純利益	114	84
法人税等	△76	111
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	191	△26
少数株主利益又は少数株主損失(△)	81	△3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	109	△23

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	191	△26
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	△37
為替換算調整勘定	277	476
その他の包括利益合計	263	438
四半期包括利益	454	411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295	275
少数株主に係る四半期包括利益	159	135

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	丸順	タイ	広州	武漢	四輪販売	
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,014	2,493	2,555	1,142	405	8,611
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	289	5	20	0	2	319
計	2,304	2,499	2,576	1,143	407	8,931
セグメント利益又は損失(△)	△16	118	175	85	△6	357

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	357
セグメント間取引消去	104
子会社配当金	△266
その他の調整額	14
四半期連結損益計算書の経常利益	209

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

## (セグメントの概要)

当社の報告セグメントは、会社別を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、会社別に「丸順」(当社)、「タイ」(タイ・マルジュン社)、「広州」(広州丸順汽车配件有限公司)、「武漢」(武漢丸順汽车配件有限公司)、「四輪販売」(株式会社ホンダ四輪販売丸順)の5つを報告セグメントとしておりましたが、2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動に記載のとおり、Indiana Marujun Corporation(インディアナ・マルジュン社)を連結の範囲に含めたため、当第1四半期連結累計期間より、「インディアナ」(インディアナ・マルジュン社)を報告セグメントに追加しております。

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディア アナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	4,299	742	2,188	1,049	3,090	733	12,103
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	596	3	28	0	0	2	632
計	4,895	746	2,217	1,049	3,090	736	12,735
セグメント利益又は損失(△)	469	△527	69	62	△33	15	55

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	55
セグメント間取引消去	△61
子会社配当金	△132
その他の調整額	2
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△135

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項、(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)に記載のとおり、

当社及び国内子会社は、従来、有形固定資産(建物及び工具器具及び備品のうちの金型を除く)の減価償却の方法について定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法によることといたしました。

この結果、従来の方法と比較して、当第1連結累計期間の減価償却費は丸順で24百万円、四輪販売で0百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ丸順で24百万円、四輪販売で0百万円増加しております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。